

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公表番号】特表2010-531370(P2010-531370A)

【公表日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-038

【出願番号】特願2010-513692(P2010-513692)

【国際特許分類】

C 08 F 220/24 (2006.01)

D 06 M 15/277 (2006.01)

D 06 M 15/233 (2006.01)

D 06 M 15/248 (2006.01)

D 06 M 15/263 (2006.01)

D 06 M 15/285 (2006.01)

D 06 M 101/20 (2006.01)

【F I】

C 08 F 220/24

D 06 M 15/277

D 06 M 15/233

D 06 M 15/248

D 06 M 15/263

D 06 M 15/285

D 06 M 101:20

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月1日(2011.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

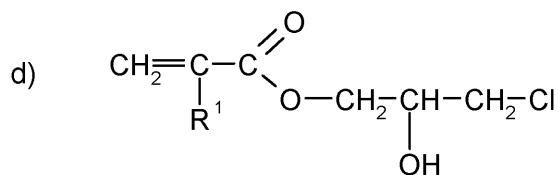
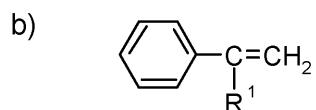
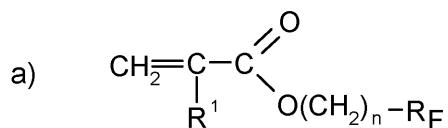
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

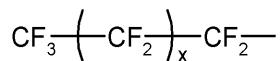
式a)~d):

## 【化6】



[ここで、全ての基  $\text{R}^1$  は、それぞれ他と独立に、水素又はメチル基であり、  
 $\text{R}_F$  は、式：

## 【化7】



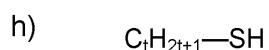
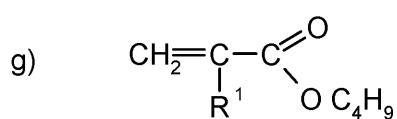
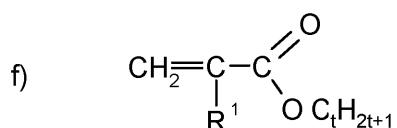
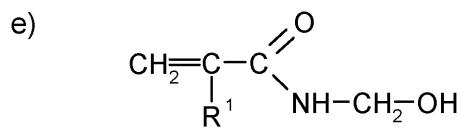
(式中、 $x$  が 2 ~ 22 の数である) のペルフルオロアルキル基であり、  
 $n$  は 2 ~ 6 の数であり、ここで  $n$  は好ましくは 2 である]

で示されるモノマーに由来する共重合ユニットを含むコポリマー。

## 【請求項2】

モノマー e) ~ h) :

## 【化8】



(ここで、R<sup>1</sup>は請求項1に記載の意味を有し、tは8～24の数である)

に由来する1つ以上の共重合ユニットを追加として含むことを特徴とする、請求項1に記載のコポリマー。

【請求項3】

以下の相対量：

3.5～5.5 mol%、特に4.2～5.0 mol%のa)に由来するユニット、

8～5.5 mol%、特に2.0～4.5 mol%のb)に由来するユニット、

8～4.2 mol%、特に8～3.2 mol%のc)に由来するユニット、

4～1.8 mol%、特に4～1.2 mol%のd)に由来するユニット、

3～1.6 mol%、特に5～1.2 mol%のe)に由来するユニット、

4～1.6 mol%、特に6～1.3 mol%のf)に由来するユニット、

3～1.6 mol%、特に5～1.1 mol%のg)に由来するユニット

でモノマーa)～g)に由来するユニットを含むことを特徴とする、請求項1又は2に記載のコポリマー。

【請求項4】

請求項1～3の一つ以上に記載のコポリマーを一つ以上含む水性分散液。

【請求項5】

繊維材料の処理のための、請求項4に記載の水性分散液の使用。

【請求項6】

繊維材料が、織物、ニット、又は不織布の形態である繊維品であることを特徴とする、請求項5に記載の使用。

【請求項7】

繊維品が、ポリオレフィン、特にポリプロピレンから作られた不織布であることを特徴とする、請求項6に記載の使用。